

ひのたにえん

2019 夏号

花見会の食事中の一風景。この日はベランダに机を並べ、いつもよりもちょっと豪華な昼食です。



チームワーク

ひのたに園 園長 齋藤誠一

先日、立ち話で、ある利用者さんに「最近どうですか?」と調子を尋ねたところ、「風呂の時間が長くなったでしょう。あれが良かったですね。気い〜が楽になりましたわあ」と返してくださいました。

ささやかではありますが、6月から夜間入浴の1グループあたりの入浴時間を5分から10分長くとれるようにしたのです。この利用者さんとのやりとりで、改めてこの変更が利用されている方々の暮らしをちょっとだけ豊かにできているのだと実感しました。

この変更は、少しでもゆっくりお風呂に入ってもらえるようにしたい。と、生活支援員のみんながそれぞれの勤務帯の時間をやりくりして実現したもので、職員の配置を増やしたりすることなく実現しました。現場で利用者と接している職員自らが主体的に行動し、実現したということが園にとっての財産だとも感じました。

さて、今年度は第2期中期経営計画の1年目にあたります。ひのたに園では昨年度、半年ほどかけて実施に向けて検討してきた新規事業をスタートさせる年度です。本便りでも紹介している居宅生活訓練事業に加え、住宅確保要配慮者への居住支援事業、生活困窮者を対象とした認定就労支援事業、一時生活支援事業もスタートを切りました。

さて、これから各事業をどのように実施し充実させていくか。風呂の時間延長で見た職員のチームワークにご期待ください。

3月

3/29 離任式

4月

4/1 着任式

4/7 花見会

5月

5/3 日野祭

6月

6/6~7 近畿救護施設
協議会大会への
参加

(職員 5名)

6/25 わらべ保育園
との交流会

6/27 友近 890
(やっくん)
コンサート

3 / 29 離任式

今年度は5名の方が移動・退職となり、利用者の方々がお世話になった職員方へ練習していた「贈る言葉」を歌って送り出しました。

4 / 7 花見会

今年は満開の桜のなか、ご家族の方もご参加いただき、無事花見会を開催することができました。天気も良かったので、ボリュームたっぷりの手作り弁当を、桜の下で食べることもできました。午後からは、queit×buzzのお二方による素晴らしい歌と演奏で利用者の皆さんと一緒に花見会を盛り上げて頂きました。ボランティアの方のご協力もあり、楽しい一日を過ごすことができましたと思います。

5 / 3 日野祭

5月3日馬見綿向神社にてひのみつりが開催され19名の利用者さんが参加されました。天候に恵まれ、とてもさわやかな五月晴れのお祭り日和でした。たこ焼きやクレープ、やきそば等の屋台がズラリと並び利用者さんはとてもワクワクしながら歩いておられました。道を曳山が通ると「おー！」と声を上げその迫力に圧倒されていました。



4/7 花見会



5/3 日野祭

利用者コラム

「わたむきグループ」の皆さん

日中活動グループの一つ、「わたむきグループ」所属の皆さんに、今楽しみにしていることや最近頑張ったことを書いてもらいました。

- ・外出レクでおこづかいがないので待つことになると思いますが、お好み焼きが楽しみです。(山本さん)
- ・毎月外泊することが気分転換になりとても楽しみにしています。(山村さん)
- ・私はひのたに園に来てもう月日がたつのも早いもので10年たちますが、文化祭の作品を色々作ることが私の楽しみです。(工藤さん)
- ・デイケアのプログラムの中で料理、特にお菓子作りが楽しみです。(古沢さん)
- ・夏の服を買いに行きたい。(蔭山さん)
- ・今年からの日中活動で、外出活動の時間が出来たので、1人で外出の出来ない私にとって楽しみな活動です。(伊藤小百合さん)
- ・わたむき作業所に段ボールを集めて持って行った。(野村泰三さん)
- ・毎日ラジオ体操を頑張っています。(中原さん)
- ・美術、自分の作品について とんび、カブト虫など全て自分自身が考案したものですのでどこにもない作品です。最近はカラー、色使いに工夫するようになってきました。(生地さん)

SST、はじめました！

ひのたに園では今年度より SST を始めました。SSTとはコミュニケーション等の練習を通して、対人関係機能の向上を目指し、訓練していく治療的技法です。月2回のペースで、1回30分で実施しており、現在4名の利用者さんが参加してくださっています。参加利用者さんとの面談を重ねながら、「主治医に症状を伝え相談する」「電話をかけてみる」等のテーマを設定し、実施してきました。SSTで練習をしたことを実際の場面で伝えることができたり、以前よりも担当支援員との会話が増える等、利用者さんの変化が見られています。今後は新たなメンバーも迎えながら、少しでも皆さんの学びになるよう楽しく実施していきたいと思ひます。



参加者インタビュー

- ① SSTに参加してみてどうですか？
- ② これから参加するメンバーに向けて

＜山本秀一郎さん＞

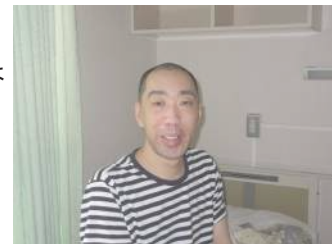
①「SSTに参加して挨拶ができるようになりました。支援員さんのおかげで世間話とか喋れるようになりました。みんなと遊べて楽しいです。」

②「頑張ってください。新しいメンバー歓迎します。」

＜飯井雅也さん＞

①「SSTで関わった人たちと少し親しくなれました。ゲームとか会話の練習が楽しいです。」

②「ゲームとか楽しいですよ！」



人生いろいろ

ひのたに園で暮らす方に、これまでの生い立ちやひのたに園での日々についてお聞きしました。

「一筋縄ではいかないね、人生は。」

佐藤哲夫さん(仮名)(78歳)

昨年の8月に入所され、いつも近くの図書館で借りた本を読まれている佐藤さん。

毎食後の食堂掃除にも欠かさず参加してくれる佐藤さんの人生について、お時間を借りてお話を伺いました。

>佐藤さんの人生は、一筋縄にはいきませんか？

一筋縄にはいかんね。ここへ来る前は、シルバーセンターで働いてたね。そこで、西友の清掃の仕事に入った。でも若いころは関東で水商売の仕事してましたよ。

>水商売の世界はどうでしたか？

最初はボーイさんから入って、出世して。人に負けるの嫌いで必死にやって。そしたらすぐ「明日からお前黒服着ろ」ってマネージャーになってね。埼玉で支配人やってた時は100人のホステス仕切ってましたよ。

>支配人って、トラブルがあったら責任負う立場ですよな？

もう全責任。だけど飲みに来る地元の親分連中と仲良くなって、店でごたごたが起きないようにしてくれてね。でも愚連隊がキャバレーのステージめがけて花火を始めたときは、俺も怒っちゃってさ。「お客さんまずいよ、火事になったら」って言って止めさせて。でも閉店になっても玄関で常連の客に殴りかかっていたから、バーテンとかボーイに「あの愚連隊、ぼろくそにやっちまえー！」ってね。普通は警察沙汰になるけど、用心棒の人が来てくれて、結局向こうが営業妨害代を払うことになってね(笑)

>すごい話ですね。水商売はいつごろまで？

40歳くらいまでかな。でも借金抱えちゃって。サラ金に追われて殺されるかもしれないって時「あんた逃げれるだけ逃げて」って母ちゃん(奥さん)がなげなしの金くれて。いい母ちゃんだったね。好きでなかったけど、金持ってたからね。

>それで滋賀に。

そうそう、寒いころだったね、2月とかだったかな、雪がすごくて。そっから金属加工や警備の会社で働きましたよ。長い人生を振り返って、良いこと悪いことの思い出があって、若者には俺みたいに放ってほしくないかな。俺も残り短い人生、社会のために奉仕するつもりです。



「三度の飯より釣りが好き！」

後藤勢司さん(56歳)

もうすぐ在籍4年になる後藤さん。昔から趣味は多彩で色々なことを経験してきたとのこと。

>今まではどう過ごしてきたんですか？

20年以上前は愛知の方で家の仕事(織物業)の配達を手伝いながら、職場の仲間や弟とスノーボードやゴルフ、釣りをよくしていましたよ。会社が潰れてしまったからは住み込みの警備の仕事をしてたけどその後、色々あって甲良の役場にたどり着きました。趣味はだいぶ減りましたが、釣りだけはずっと続けていましたね。

>今でもやっているんですか？

ひのたに園に居るときはさすがにできませんが今も盆と正月は弟の家(北陸)に帰るのでその時にしています。日本海が近いので海釣りですね。イカとか金目鯛とか。石川県の七尾から船が出るので乗船料を払って海に出ます。乗船料は人数によって変わるので2千円で行けるときもあれば6千円かかるときもあります。釣った魚はその場で捌いて食べたり、そこで買い取ってもらったり。大漁の時は乗船料ぐらい稼げるんですよ。

>今後も続けていきますか？

ここを出てグループホームに行きたいと思っています。どこの場所にしようか迷っているんですが、できれば近くで釣りができるような場所があったらいいなと思っています笑。



「居宅生活訓練事業」が始まりました

ひのたに園では、6月より居宅生活訓練事業をスタートしました。これは、ひのたに園に入所している方が、スムーズに居宅生活へ移行出来るようにするため、園が訓練用のアパートを確保して、より居宅生活に近い環境で実体験的に生活の訓練を行い、居宅生活への移行を支援する取り組みです。

今年度は、二人の方がこの取り組みにチャレンジすることになりました。ひのたに園から徒歩20分の距離にあるアパートで、すでに各々の個別訓練を始めておられます。苦手な事は人それぞれですので、地域で一人暮らしをするにあたり、何が不得意か、どの部分に支援が必要かを明確にしながら、段階的に力を身に付けていくことが出来るため、とても頼りになる事業だと思えます。

たちは室内清掃や洗濯、食事作りを自分たちで行ったり、金銭管理も同時に取り組みられています。「無洗米にしたわ」「朝はパンと牛乳とバナナにした」と毎日報告を聞き、困り事がないかの確認や訪問、アドバイスをしています。この事業を通して自立生活に必要な力を身に付けていただき、ひのたに園から羽ばたかせることを願っています。そして、また次にこの事業を利用する人の励みとなっていただきたいです。

新任職員紹介

①出身 ②好きなもの ③3か月働いて感じる、ひのたに園で働く面白さ

<生活支援員>



川村夏海

- ①甲賀町 最寄り駅は徒歩1時間、最寄りのコンビニも徒歩1時間のド田舎に住んでいます。
- ②爬虫類が大好きです！今は家でヘビとヤモリを飼っています。あともう一匹飼いたいなと密かに計画中です。
- ③今年の3月に専門学校を卒業し、4月からひのたに園で生活支援員として働かせていただいています。至らない点しかありませんが頑張りますのでよろしくお願ひします。



藤田爽乃

- ①竜王町 田んぼに囲まれて生活しています。
- ②テーマパークが好きです！特にディズニーランドがすきです。
- ③3月に大学を卒業し、4月からひのたに園でお世話になっています。ひのたに園では毎日が新しい発見で驚いてばかりです！まだ慣れず迷惑をお掛けすることばかりですが、頑張っていきたいとおもいます。よろしくおねがいします。



檜山淳二

- ①栗東市。現在住んでいる場所も実家から300m程のところ。
- ②ゴルフにどっぷりハマっていますが来年にはどうなっていることやら。
- ③8年ほど高齢者施設で働いてきました。救護施設のことはまだまだわかりませんが、皆さんに教えてもらいながら元気に頑張っていきたいと思います。人見知りはいらないほうなのでどどん話しかけて下さい！！



小暮淳

- ①大津市 日野町には遠いですが、京都、大阪へは結構便利なところに住んでいます。
- ②書店で“これは！！”と思う本を見つけること
- ③異動で5年ぶりにひのたに園に戻りました。以前から顔見知りの方が新たにお会いした利用者さんが各々の役割や生きがい、目標を持って生活されている姿に接し、何かの助けになれないかと関わりを楽しんでいます。

<副園長>



飯田尚樹

- ①京都出町 御所と鴨川と榊形商店街で育つ。五山の送り火は近所から全部見える。
- ②音楽（ジャパメタ、ハードロック）、オカルト全般、時々神社めぐり。
- ③暮らしや人との関わりの楽しさも大変さも同居するひのたに園が好きです。まだ3ヶ月ですが、繁華街の雑踏や行き交う人、スーパーで買い物をする親子、自転車を漕ぐおじさん、同窓会で久しぶりに会う友人たち、自分の家族。そんな当たり前と思っていた日常を少し違う視点で感じる様になってきました。

お知らせ

今年も7月30日（火）18時40分～20時にひのたに園・納涼祭を開催します。盆踊りしながら、屋台やカラオケを楽しみましょう。皆様のご参加をお待ちしております。

編集後記

今年度の第1号です。今号から「人生いろいろ」を始めました。ひのたに園を利用される方々が送ってこられた豊かで多様な人生が垣間見えるようなコラムです。



社会福祉法人 グロー

救護施設「ひのたに園」広報誌
(2019年夏号)

〒529-1601 滋賀県蒲生郡日野町松尾 121
TEL 0748-53-0645 FAX 0748-53-2598